



「日本と中国、日常会話の中でその違いを理解する」

～中国、日本を理解すれば、生活の楽しみがダブルに～

今年の日中国交正常化 40 周年を迎えています。私は、ちょうどこの平和な時代に生まれ育った一人の中国人です。来日後、12 年の間に切実に感じとったものは？日本の生活に、日本の美しい風景を見て、感じいったことは？困った時、戸惑う時、寂しい時、日本人にどのように助けられたのか、どんな言葉に助けられたのか？

中国語を教えているうちに、両国の日常会話の流れの違いに気づき、その裏に隠れた文化、習慣の違いを見出しました。同じ空の下に暮らしている地球村の皆さま！この細やかなつづやきをお聞きください。



蓮を詠う漢詩「小荷才露尖尖角」
中国人は漢詩が好きです。



BC11 世紀に作られた世界一
美しい青銅器。さすが古代文明
の発祥地。



定年後の人々の趣味はさまざま：
「文房四宝」を揃えての篆刻、書道、山水絵、。

日 時：7月21日（土） 13：30－15：30

場 所：さいたま市国際交流センター（浦和駅東口 コムナーレ9階 パルコ上）

講師： 郭旭然(カク スーラン)

中国遼寧省撫順市に生まれ、遼寧大学英语教育学部卒業、英語教師として六年間勤め、12 年前に来日。2005 年英国のウエストミンスター大学応用言語の大学院課程で言語と異国文化コミュニケーションを研究。再度来日し、日本で 10 年間中国語講師。

【お申し込み・問い合わせ】

(社)さいたま観光国際協会 国際交流センター ぷらっとサロン
浦和駅東口 コムナーレ9階(パルコ上)

電話/FAX: 048-887-1506 E-mail: iec@stib.jp

【ミニ講座申込用紙】※お電話・メールでのお申し込みも承っております。 申込期限：7月20日（金）

氏名		電話番号 (携帯優先)	
住所	〒	その他	